

次世代のエネルギー源を担う
モルテン・ソルト・リアクター
勉強会へのお誘い
～使用済み核燃料の処理ができる熔融塩炉～

世界のエネルギー政策に行き詰まりをもたらす使用済み核燃料を処理し解決できるテクノロジーは熔融塩炉です。

1965年に米国オークリッジ国立研究所で実験炉 MSRE が建設され、2年間の連続無事故運転に成功した実績をもち、原子炉の基本技術は確立されています。

2016年には米国エネルギー省が、電力会社サザンカンパニー等の要請に応え、ビルゲイツ設立のテラパワー社・電力研究所・バンダービルド大学・オークリッジ国立研究所の産学官共同の熔融塩炉プロジェクトに開発費支援を決めたことを契機に、世界的に使用済み核燃料処理を目指した熔融塩炉開発の動きが起こっています。

世界の流れに取り残されないよう、みなさんと一緒に熔融塩炉について理解を深めたいと思いますので、勉強会へのご参加の程よろしくお願い致します。

記

[日 時] 平成29年6月21日(水曜日)

[時 間] 16時00分受付開始、講演会17時～19時

[場 所] 衆議院第一議員会館 B1F大会議室

[講 演] ① 熔融塩炉がもたらす技術革新と至近の世界動向 木下幹康 (ITMSF)

② 熔融塩による使用済み燃料処理の技術課題 寺井隆幸 (東大)

[会費・定員] 資料代として1,000円(当日)・定員130名

[勉強会事務局] 〒195-0071 東京都町田市金井町 2056-47

TEL 042-736-6960 FAX 042-736-6963

株式会社トリウム テック ソリューション 取締役会長 金子和夫

[国会窓口] 衆議院第二議員会館803号室 TEL 03-3508-7197 FAX 03-3508-3627

[参加申込] FAX 03-3508-3627 大見 正 (担当: 倉島 守)

お申込は下記欄にご記入の上、この用紙で窓口宛にFAXにてご送信ください。

代表者氏名	出席者計	名
住所		
所属先	役職	
電話	FAX	携帯

<呼びかけ人>

有馬朗人 武蔵学園学園長・理学博士、 松井一秋 エネ総工研 研究顧問
木下幹康 ITMSF 理事長（代表呼びかけ人）

<設立発起人> （以下の設立発起人リストはまだ暫定です）

武蔵学園学園長理学博士・有馬 朗人、 都大学名誉教授・伊藤 靖彦、 東京大学名誉教授・石野 栞、 東京工業大学教授・高橋 実、 東京大学名誉教授・山脇 道夫、 エネ総工研研究顧問・松井 一秋、 京都大学教授・宇根崎 博信、 東京工業大学名誉教授・吉田 正、 京都大学名誉教授・代谷誠治、 核融合科学研究所名誉教授・相良明男、 核融合科学研究所特任准教授・渡邊崇、 北海道大学名誉教授・島津洋一郎、 高エネルギー加速器研究機構教授・古川和朗、 東京工業大学名誉教授・藤井靖彦、 近畿大学教授・野上雅伸、 長岡技術科学大学教授・鈴木達也、 東京大学工学博士・木下幹康、 株式会社 TTS 技術統括・千葉文浩、 株式会社 TTS 代表取締役・古川 雅章、 株式会社 TTS 取締役会長・金子 和夫 他

<国会議員世話人>

額賀福志郎、森 英介、山本 拓、原田義昭、三原朝彦、三ツ矢憲生、片山さつき 他
（順不同）

<企 業>

経団連、電気事業連合会、日立製作所、東芝、三菱電気、富士電機、関電工東京、トーエネック、東京エネシス、中電工、きんでん、ThorCon, US Inc. (USA)、 Terrestrial Energy Inc. (CANADA)、MOLTEX (UK) 他

<省 庁>

経済産業省、文部科学省、内閣府 他